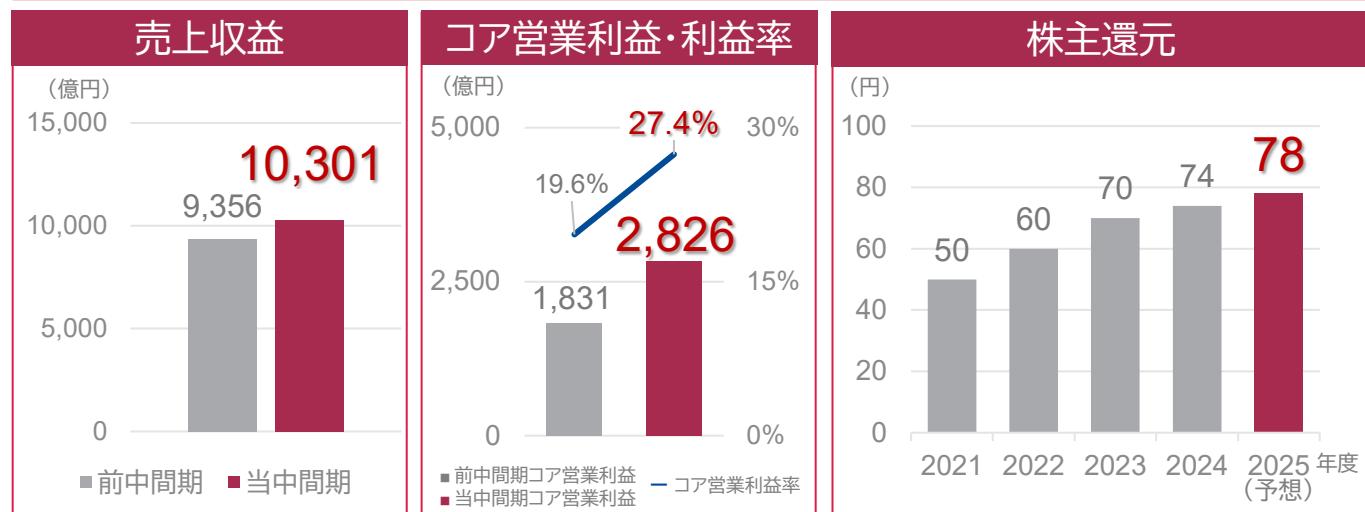


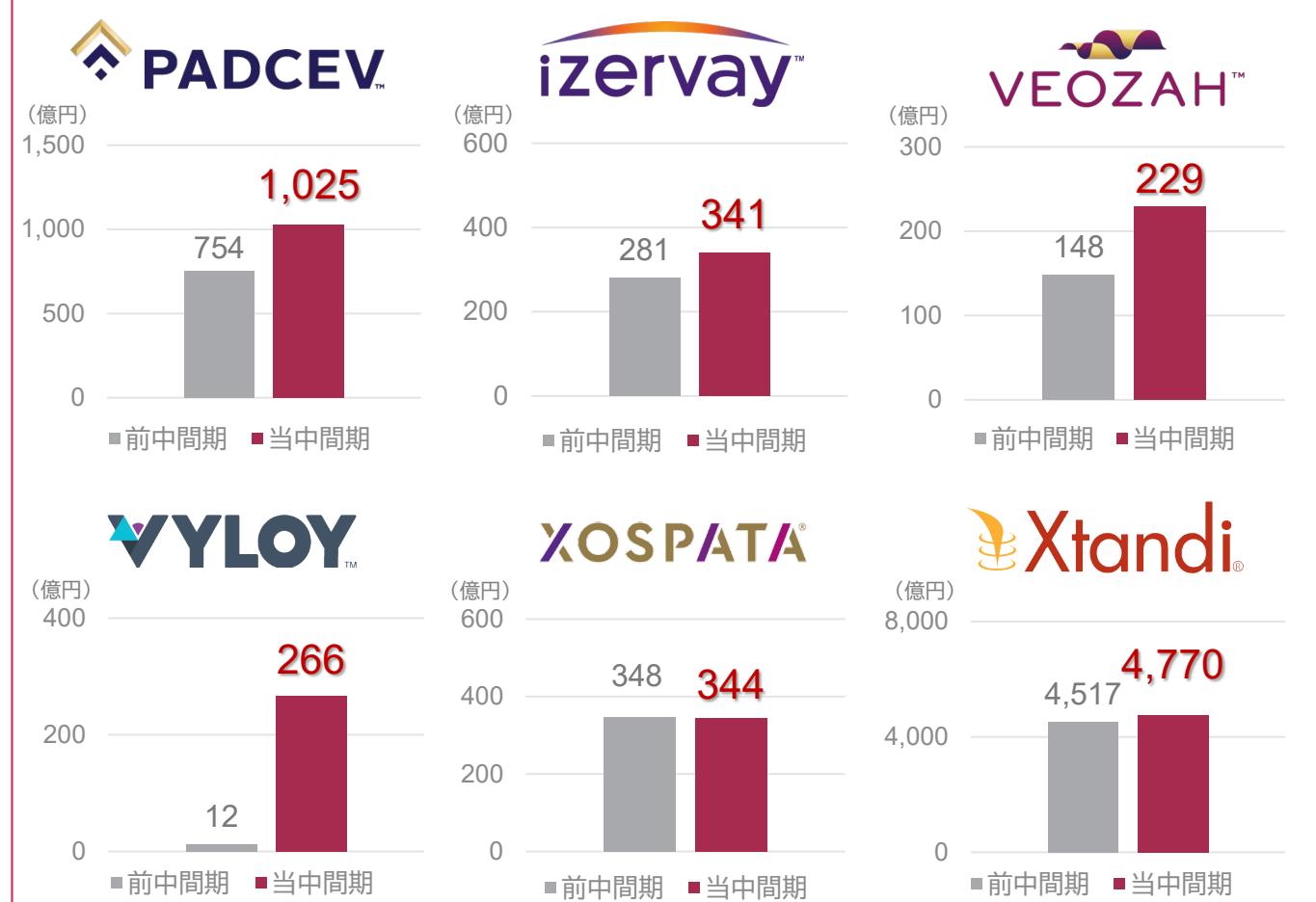
株主の皆さんには、日頃よりご支援・ご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年3月期 中間会計期間の連結業績の概況及び統合報告書2025などについてお知らせします。

財務ハイライト



主要製品の売上



VEOZAH:米国外ではVEOZAの製品名で承認取得

当社は、XTANDIの独占販売期間満了を乗り越えてさらなる成長を目指すべく、経営計画2021の成果目標と密接に関わる下記の3つの全社的な優先事項を定め、中期的な取り組みを進めています。

Growth Strategy

- 重点戦略製品のポテンシャルを最大化させる取り組み

BOLD Ambition

- パイプライン価値向上のために、重点戦略製品のライフサイクルマネジメントやFocus Areaアプローチの研究開発を加速するための取り組み

Sustainable Margin Transformation

- 目指すべき姿であるコア営業利益率30%の実現に向けて、コスト最適化を追求する取り組み

詳細については、URL又は二次元コードから決算関連資料や説明会動画をご参照ください。

<https://www.astellas.com/jp/investors/ir-library>



連結業績(コアベース)

当中間期(2025年4月1日から9月30日)の連結業績(コアベース)は下表のとおりです。売上収益、コア営業利益、コア中間利益はいずれも増加しました。

	(単位:億円)		
	前中間期	当中間期	増減率
売上収益	9,356	10,301	+ 10.1%
売上原価	1,738	2,004	+ 15.3%
販売費及び一般管理費	4,064	4,038	△ 0.6%
研究開発費	1,723	1,433	△16.9%
コア営業利益	1,831	2,826	+ 54.4%
コア中間利益	1,408	2,115	+ 50.2%
基本的1株当たり コア中間利益(円)	78.62	118.08	+ 50.2%

当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定めた特定の重要な調整項目を除外したもので、調整項目には、無形資産償却費、無形資産譲渡益、持分法による投資損益、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、当社が除外すべきと判断する項目が含まれます。

売上収益

売上収益 10,301億円 (前年同期比10.1%増)

●尿路上皮がん治療剤PADCEV、地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性治療剤IZERVAY、閉経に伴う血管運動神経症状治療剤VEOZAH*、胃腺がん及び食道胃接合部腺がん治療剤VYLOY、前立腺がん治療剤XTANDIの売上が拡大しました。

* VEOZAH:米国外ではVEOZAの製品名で承認取得

コア営業利益／コア中間利益

コア営業利益 2,826億円 (同54.4%増)

コア中間利益 2,115億円 (同50.2%増)

●販売費及び一般管理費は、4,038億円(同0.6%減)となりました。重点戦略製品*の更なる成長投資にリソースを創出する一方、Sustainable Margin Transformation(SMT)によるコスト最適化(約70億円減)や為替の影響(同125億円減)などの削減効果により、総額として減少しました。なお、XTANDIの米国での共同販促費用を除いた販売費及び一般管理費は、2,767億円(同1.3%減)となりました。

●研究開発費は、1,433億円(同16.9%減)となりました。為替の影響(同38億円減)に加え、SMTによるコスト最適化(約70億円減)や重点戦略製品の臨床開発費の減少(同約60億円減)などにより、総額として減少しました。また、前年度に計上した一過性の共同開発費用の支払いも減少要因となりました。

*重点戦略製品:PADCEV、IZERVAY、VEOZAH、VYLOY、XOSPATA

為替の業績への影響

当中間期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前年同期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては222億円の減少、コア営業利益においては45億円の減少の影響がありました。

期中平均レート	前中間期	当中間期	変動
米ドル/円	152	146	6円高
ユーロ/円	166	168	2円安

*小数点第1位以下を四捨五入しています。

連結業績(フルベース)

当中間期の連結業績(フルベース)は下表のとおりです。営業利益、税引前中間利益、中間利益はいずれも増加しました。フルベースの業績には、コアベースの業績に「無形資産償却費」、「無形資産譲渡益」、「持分法による投資損益」、「その他の収益」、「その他の費用」を戻し入れたものです。

	(単位:億円)		
	前中間期	当中間期	増減率
売上収益	9,356	10,301	+ 10.1%
営業利益	937	1,994	+ 112.8%
税引前中間利益	890	1,946	+ 118.6%
中間利益	735	1,476	+ 100.8%
基本的1株当たり 中間利益	41.06	82.44	+ 100.8%
中間包括利益	14	1,646	-

■ 営業利益／コア中間利益

営業利益 1,994億円 (同112.8%増)
中間利益 1,476億円 (同100.8%増)

- 当中間期における「無形資産償却費」は655億円(前年同期:692億円)、「その他の収益」は52億円(同:45億円)、「その他の費用」は254億円(同:269億円)となりました。
- 「その他の費用」として、第1四半期において、Xyphos関連の一部プログラムに関する無形資産の減損損失(116億円)を計上しました。

主要製品の売上

	(単位:億円)		
	前中間期	当中間期	増減率
PADCEV	754	1,025	+ 35.9%
IZERVAY	281	341	+ 21.4%
VEOZAH ¹	148	229	+ 54.7%
VYLOY	12	266	-
XOSPATA	348	344	△ 1.1%
XTANDI	4,517	4,770	+ 5.6%
ベタニス/ ミラベトリック/ ベットミガ	775	865	+ 11.5%
プログラフ ²	1,039	1,032	△ 0.7%

*1 VEOZAH:米国外ではVEOZAの製品名で承認取得

*2 プログラフ:アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

注意事項

本資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述及びその他の過去の事実ではない記述は、当社の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知及び未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。様々な要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化及び関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品及び既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

通期連結業績予想

VYLOYやXTANDI、ミラベグロンなどの好調な進捗や為替の影響に加え、費用管理の状況を反映し、2025年4月に公表した業績予想を上方修正しました。

コアベース

	(単位:億円)		
	2026年3月期 期初予想 *	2026年3月期 修正予想	差異
売上収益	19,300	20,300	+ 1,000
販売費及び 一般管理費	8,050	8,310	+ 260
研究開発費	3,420	3,220	△ 200
コア営業利益	4,100	4,900	+ 800
コア当期利益	3,040	3,650	+ 610
基本的1株当たり コア当期利益(円)	169.80	203.79	+ 33.99

フルベース

	(単位:億円)		
	2026年3月期 期初予想 *	2026年3月期 修正予想	差異
売上収益	19,300	20,300	+ 1,000
営業利益	1,600	2,400	+ 800
税引前利益	1,500	2,300	+ 800
当期利益	1,300	1,800	+ 500
基本的1株当たり 当期利益(円)	72.61	100.50	+ 27.89

*2025年4月公表

統合報告書2025公開のお知らせ

「統合報告書2025」では、患者軸を中心とした新体制のもと、アステラスのVISIONである「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの『価値』に変える」の実現に向けた挑戦と、企業価値向上への歩みを紹介しています。

「統合報告書2025」はこちらからご覧ください

<https://www.astellas.com/jp/about/astellas-integrated-report>



CEOメッセージ

「経営計画2021で目指してきたあるべき姿に向かって、着実に成果を積み上げています。患者軸を中心とした新たな体制の下、ステークホルダーの皆さまからの信頼をいただき、さらなる成長に向けて邁進します」

経営計画2021の4年目となる2024年度の進捗に加え、XTANDIの独占販売期間満了後も持続的に成長するために取り組んでいる「3つの全社的な優先事項」、「患者軸」を中心とした新しい体制、2025年に刷新したアステラスの新しい行動規範「組織における価値観と行動」など、アステラスが目指すべき姿を達成するための各取り組みについて、岡村直樹代表取締役社長CEOが自らの言葉で語っています(9ページ)。

アステラスの競争優位

「VISIONを胸に、果敢に挑む」この言葉に表されるとおり、私たちの全ての活動は、VISIONへの搖るぎない決意に強く突き動かされています。また、患者さんへの「価値」の創造・提供を可能とするアステラスのコアケイパビリティの根底には、常に患者さんを中心に置きながら進化し続ける、搖るぎない文化と組織体制があります。これらを基に私たちが示してきた実績や次なる成長エンジンを含め、アステラスの競争優位を詳細に解説しています(2ページ)。



AI創薬

創薬プロセスの加速を目指し、人間とAIとロボットが三位一体となって「価値」を生み出す“Human-in-the-Loop”型の医薬品創製プラットフォームを開発しました。本プラットフォームは、創薬のサイクルの各工程にAIとロボットを組み入れつつ、要所で研究者がアイデアや総合的判断などの価値を加える独自の仕組みです。本プラットフォームの活用により、医薬品候補化合物の取得にかかる時間を約70%短縮した事例が出ています。今後もAI活用をさらに加速させ、患者さんに「価値」を早く届けることを目指します(60ページ)。



今後、皆さんにとって更に有益な統合報告書へと進化していくため、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケートはURL又は2次元バーコードより回答いただけます。

<https://forms.office.com/r/bqWv2BR98k>



事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	当社コーポレートサイト 株主総会情報	当社のコーポレートサイト 「 IRライブラリ 」をご覧ください
定時株主総会	6月	株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
基準日	期末配当、定時株主総会 中間配当 そのほか必要のある場合は、あらかじめ公 告して定めた日	3月31日 9月30日	〒168-0003 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・休日を除く)
単元株式数	100株	株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先、 お問い合わせ先)	株式に関するお手続き https://www.smtb.jp/Personal/agency/
公告の方法	当社のコーポレートサイトに掲載 https://www.astellas.com/jp ただし、事故その他のやむを得ない事由に よって電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載して行います。		

[書面交付請求受付 / 株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ]

株主総会資料の電子提供制度開始に伴い、株主様に当社から郵送する書面は、株主総会資料へのアクセス方法(URLなど)、株主総会の日時・場所及び議案内容などを記した抜粋版の株主総会資料ならびに議決権行使書用紙となります。

抜粋版ではない株主総会資料の書面交付を希望される株主様は、右記のお問い合わせ先よりお手続きください。株主総会の基準日が、お手続きの期限となります。なお、お手続きには2週間以上かかる場合がございます。余裕をもってお手続きを行ってください。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社
書面交付請求 専用コールセンター
0120-533-600
受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)

電子提供措置の詳細に関しては、
「[電子提供制度についてのご案内](#)」もご確認ください。

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



アステラス製薬コーポレートサイト・公式SNSのご案内

グローバルでより統一された情報発信を目的に、[当社コーポレートサイト](#)をリニューアルいたしました。

Our stories

世界の人々の健康のために、
最先端の科学を追求し、より良い
社会の実現を目指す社員の想い
を紹介しています。
ぜひご覧ください。



「個人投資家の皆さま」

アステラスのビジネス展開、
主な製品、経営計画、研究開発、
株主還元など、アステラス
をより分かりやすく知って
いただくための情報を掲載して
います。



コーポレート公式LinkedInアカウント

株主総会、四半期決算報告などの
IR情報に加えて、イノベーションの
創出やサステナビリティへの取り
組み、企業文化のご紹介など、
幅広いコンテンツをお届けします。



個人投資家の皆さま向けメールマガジン

株主・投資家の皆さまに選
りすぐったトピックスのほか、
くすり創りに込めた想いの
コラムや、IR担当者が現場
で感じた日々の出来事など
を お送りしています。



株主の皆さまの声をお聞かせください

株主の皆さまの声を今後のIR活動に生かしてまいります。

右のアンケートより、当社へのご意見を是非お聞かせください。 <https://forms.office.com/r/tvj4LctKe>

